

【重点分野－3】連合「なんでも労働相談ホットライン」（☎0120-154-052）
2021年1月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で1,064件の相談が寄せられ、昨年の954件より約1.1倍、110件の増加であった。年代別では、40代、50代が全体の半数以上を占めた。
- 業種別では、「医療、福祉」が2カ月連続の1位となり、145件（20.6%）であり、先月と比較して85件減。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」（185件・17.4%）が最も多く、「解雇・退職強要・契約打切」（130件・12.2%）、「雇用契約・就業規則」（101件・9.5%）が続いた。8カ月連続で順位は同じであった。
- 具体的な相談では、「スーパーマーケットで働いているが、休みも取れず、客からのハラスメント、コロナ感染への脅威もあり、私たちも限界を超えている」といった相談や、「妊娠を期に、会社を辞めてくれ。辞めないならアルバイトになってもらう、と言われた」といった相談が寄せられた。

		2021年			2020年		
集計対象期間		1月1日～1月31日			1月1日～1月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,064			954		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目		内容	件数	割合	内容	件数	割合
性別 (未報告除く)	男性		539	50.7%	男性	466	48.8%
	女性		520	48.9%	女性	486	50.9%
	その他		5	0.5%	その他	2	0.2%
年代 (不明除く)	10代		8	1.2%	10代	3	0.5%
	20代		75	10.9%	20代	55	9.2%
	30代		123	17.9%	30代	129	21.7%
	40代		178	25.8%	40代	169	28.4%
	50代		197	28.6%	50代	149	25.0%
	60代		91	13.2%	60代	81	13.6%
	70代		17	2.5%	70代	9	1.5%
雇用形態 (未報告除く)	正社員		554	52.1%	正社員	481	50.5%
	パートタイマー		173	16.3%	パートタイマー	167	17.5%
	アルバイト		57	5.4%	アルバイト	43	4.5%
	契約社員		92	8.6%	契約社員	94	9.9%
	臨時・非常勤職員		10	0.9%	臨時・非常勤職員	15	1.6%
	嘱託社員(再雇用含)		19	1.8%	嘱託社員(再雇用含)	13	1.4%
	派遣社員		58	5.5%	派遣社員	45	4.7%
	その他		101	9.5%	その他	94	9.9%
業種(上位) (不明除く)	1位	医療、福祉	145	20.6%	医療、福祉	131	20.8%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	121	17.2%	サービス業(他に分類されないもの)	89	14.1%
	3位	製造業	105	14.9%	製造業	86	13.6%
	4位	卸売・小売業	80	11.4%	卸売・小売業	85	13.5%
	5位	運輸業	53	7.5%	運輸業	52	8.2%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	185	17.4%	パワハラ・嫌がらせ	150	15.7%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	130	12.2%	解雇・退職強要・契約打切	101	10.6%
	3位	雇用契約・就業規則	101	9.5%	雇用契約・就業規則	83	8.7%
	4位	年次有給休暇	67	6.3%	退職手続	74	7.8%
	5位	退職手続	62	5.8%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	54	5.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌		13	1.4%	新聞・雑誌	19	2.3%
	ラジオ・テレビ		16	1.8%	ラジオ・テレビ	11	1.3%
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)		41	4.5%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	65	7.8%
	ホームページ		627	68.5%	ホームページ	542	64.7%
	SNS(フェイスブック・ツイッター)		20	2.2%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	9	1.1%
	紹介		91	9.9%	紹介	93	11.1%
	その他		108	11.8%	その他	99	11.8%

【参考】2021年1月 連合本部 インターネット労働相談受付件数110件(2020年1月:75件)

2021年1月26～27日開催 連合本部外国人労働者向け集中労働相談ホットライン 労働相談受付件数 35件